ふれあいパーク

第６号
２００７年３月２６日
編集・発行　ふれあいパーク編集委員会
〒144-8621　大田区蒲田五丁目13番14号
電　話　０３（５７４４）１３１９

本誌「ふれあいパーク」は、ふれあいパーク活動に役立つ情報を満載して年２回お届けしています !!

アイデアいっぱい！公園の活用

公園は地域の人々に愛され、活用されるほど生き生きとします。皆さんのアイデアと実践が、地域にふれあいをもたらす原動力となります。公園を活用したユニークな取り組みをご紹介します。

遊ぼう！スマイルパーク　池上五丁目公園

池上五丁目公園は、保育園が隣接しており、子供達の利用が多い公園です。昨年6月7日（水）、その子供達を主体に、保護者や近所の皆さんと一緒になって遊ぶ「遊ぼう！スマイルパーク」が開催されました。

当日は、大型の絵本を使っての読み聞かせをはじめ、魚釣り、紙ヒコーキ飛ばし、紙鉄砲づくりなど手作りの企画がいっぱい。子供達は大喜びで、たくさんの方々がこの日、公園に来ました。

活動グループの「りんごママ」は20～30代の子育て中の母親がメンバーです。7月にはバザーを開催し、その収益で園内に植える花苗を買うなど、「ママ」達ならではのアイデアを出し合い、活動しています。同グループでは、今後も、公園スペースを活用した様々な企画により、地域の方々と一緒に楽しい活動を目指します。

若いママさん達がメンバーです

手作りの案内チラシ

防災道具を使っての「すいとん」づくり　南蒲公園

南蒲公園では、昨年10月9日（月）、快晴の青空の下で釜などの防災道具を使った「すいとん」づくりが行われました。

昨年4月から同公園で活動を開始した「南蒲公園を見守る会」では、公園を地域にアピールする方法を模索、防災訓練での炊き出しの経験を生かした取り組みを決め、今回の開催となりました。

「すいとん」が大釜に１００人分！

地元の南蒲田一丁目町会やPTAを通じて参加を呼びかけたこともあり、当日は子供達をはじめ高齢者や車椅子利用の方など多くの方々が参加しました。約100人分の量の「すいとん」も短時間でなくなり、急きょ50人分が追加されました。

「すいとん」づくりを初めて見る人も味わう人も皆、和やかな雰囲気で、地域の親睦も一層深まりました。この体験は、地域の防災にもきっと役立つことでしょう。

準備には早朝から皆が協力

「輪投げ」練習　あおぞら児童公園

多摩川に近い鵜の木二丁目に位置するあおぞら児童公園は、約300㎡と比較的小規模な広さですが利用者の多い公園です。「多摩さくら会」は、地域の老人クラブのメンバーで構成されています。

同グループでは4年前から、清掃活動の他、メンバーの交流と健康づくりも兼ねて、毎週金曜日に「輪投げ」の練習を行っています。今では、区内でもトップクラスのチームになりました。

「輪投げ」は一チーム5人で参加し、5メートル先に設置された「輪投げ台」に、一人9本の「輪」を投げ、これを3回行い、合計得点で順位を争います。現在、大田区老人クラブ連合会には、同グループの他、約30の「輪投げ」チームが登録されています。

今年2月2日には、同連合会主催の「輪投げ大会」が大森スポーツセンターで開催され、メンバーは楽しく競技に参加しました。

健康は輪投げで！

ぶどうの収穫祭　下丸子余情公園

下丸子余情公園には、園内に2つのぶどう棚があります。ここに、マスカット風の黄緑色のぶどうが実り始めたのは数年前からで、試食してみると、なかなかの味！！

そこで、活動グループの「NPO法人公園レクリエーション協会大田支部」のメンバー4人は、親睦も兼ねて、昨年11月23日（祝）に「ぶどうの収穫祭」を行いました。取りたてのぶどうを袋に入れて、公園付近の通行人に配りました。また、この日、偶然に近くの公園でも催し物があり、その参加者にも呼びかけて賞味してもらいました。味は甘く好評でした。

今年1月、秋の収穫にむけてぶどうの木を剪定しました。「収穫祭」を通じて、地域の方々にこのような公園の活用方法もあることをPRしようと準備を進めています。

公園でぶどう狩り！

収穫されたぶどう

何でもトーキングのコーナー ②
「公園のイベントを、地域の皆さんにPRするコツは何でしょう？」

「ふれあいパーク活動」で公園を使ってイベント等を開催する場合に、地域の人達にPRする方法を皆さんに語ってもらいました。

ふれあいパーク活動に限らず、地域でのイベントの際には**回覧、掲示板、チラシ**の各戸配布を通じて、**地域の方々全員に公平に情報**が行き渡るように**町会として組織的に**取り組んでいます。

また、ふれあいパーク活動に参加している役員が80名おり、**役員の口伝い**で地域にPRされます。

（東六郷一丁目有志の会　中島さん）

「花の里親制度」として公園に咲かせる花苗を自宅で種から育ててもらっています。**自治会の総会**で参加者にPRして種を配ります。子供が主体となり公園の壁の「ペンキ塗り」をした際は、子供が多く集まる場所を子供から教えてもらい、そこでPRしました。この場合、**子供伝いにPRする**のがコツです。（大田区新蒲田一丁目自治会　長澤さん）

活動予定表（チラシ）を発行して、近隣の施設の窓口に置いてもらっています。主な配布先は幼稚園、児童館、小学校、図書館などです。また、町会など地域の掲示板にも掲示しています。活動予定表は、毎月メンバーが集まり活動計画を立て、2ヶ月分づつ作成しています。

また、活動の予定や内容を写真入りで毎月1回、地元の新聞販売店で発行している**地域版（新聞折込）**に無料で掲載してもらっています。（もっと遊べる五丁目公園の会　松田さん）

私達は、小学校のPTAでふれあいパーク活動に取り組んでいます。運営活動や清掃は**当番制**で**スケジュール**を決めています。

イベントや行事の際には**配布物**を作り、**PTAから全校生徒と保護者に見てもらう**ようにしています。

公園のマナーなどの啓発は、**子供達が描いたポスター**を掲示しています。

（糀谷小PTAクリーン隊）

保育園の子供達と父兄と一緒に公園の花壇づくり等に取り組んでいます。イベントの際には、**画用紙**に絵を書いた**手作りのポスター**を作成します。これを町会の掲示板や保育園に掲示します。さらに、父兄で**店を経営している方には店内での掲示**をお願いしています。

（大森南ひまわり会　岡部さん）

公園でのイベント（お祭り）は、8月に商店街が、9月には町会がそれぞれ主催しています。PRは**主催者側**にお任せしています。

陽当り良く、小学生の子供達が集まってくる他、保育園の利用や、桜の時期には、団地の家族や地域のグループの方々が花見に来ます。**清掃や花壇づくり**を続け、常に**公園を人々の目に留まる状態にして存在感をアピール**することが、結果として地域へのPRになると思います。

（中馬込グループ　谷内さん）

ワークショップでクルージング！

昨年12月2日、南三堤公園現地にてワークショップを開催！

協働実験塾「ふれあいパーク活動いろは塾」

好評の協働実験塾「ふれあいパーク活動いろは塾」。今回そのメニューの一つとして、公園でのワークショップが開催され、青空の下、中学生も含む幅広い地域の方々が参加しました。

◆公園を皆でクルージング！

今回のワークショップは、南六郷三丁目町会の協力を得て、多摩川に近い「南三堤公園」にて開催されました。日頃の活動上の課題を解決するためのヒントを、他のメンバーとのやり取りの中で感じ取ってもらうことが目的です。

当日は、課題を見出すために皆で公園をクルージング（航海）しました。3つのグループに分かれて、船長、航海士、機関士、甲板員をメンバー全員が何らかの役割を担うように決めました。航海には計画が欠かせません。公園をどのように回り、何を重点に見ていくのかを話し合いながら、見取り図を作成しました。さて、用意されたロープを船に見立てて、いよいよ出航！青空の下、ロープのクルーザーから見た公園は、なぜか日常とは違った印象を感じ、普段目に付かない物や事柄を発見する良い機会となりました。「遊び心」が導入されたメニューで、参加者は豊富なワークショップの材料を収集することができました。

只今クルージング計画を作成中

◆アイデアを出せる雰囲気づくり

公園クルージングの後には、引き続きワークショップが行われました。意見、提案が発表されると必ず拍手が室内に響き渡ります。これは、自由な発言を促進させるための講師陣の指導によるもの。新聞で折った帽子を被る（写真）のも、リラックスさせる演出です。講師の滋賀県立大学助教授の鵜飼修さんは、アイデアが出せる雰囲気づくりを重視する、まちづくりのコンサルタントです。参加者は中学生から70歳代までと幅広く、成果の発表を終えるまで、やり取りがお互いに白熱。ワークショップを通じて異世代が交流した有意義な一日となりました。

「ふれあいパーク活動いろは塾」は区民・国際交流課の事業で、昨年度からスタートしました。今年度はこの他、昨年11月23日（祝）にNPO法人「まちの縁側育み隊」代表の延藤安弘さんによるスライドと語りによる「幻燈（げんとう）会」が開催され、こちらも好評でした。

ロープのクルーザーで出航！

活動をサポートする有志の「草刈り応援隊」が公園に参上！！

新しい「ふれあい」がもたらす原動力!! 北千束北児童公園は、「聖月クラブ」のメンバーが毎週、清掃などの活動をしています。しかし、広さが800㎡程あり、特に雑草が伸長する季節に、草刈りを清掃と同時に行うのは、女性中心の同グループには、結構大変な作業です。以前から、作業をサポートする人がいればと思っていたところ、「救世主」が登場!! 同グループの公園での清掃活動を見ていた男性が、「私達に何かできることはありませんか？」と、メンバーに話しかけてきたのです。

これが縁となり、月1回程度ですが、公園の草刈りなどの作業について、応援を受けることとなりました。この「草刈り応援隊」は、地域活動に参加していた近隣の男性の有志4～5名による集まりです。今年の3月4日から一緒に作業をしています。

公園での「ふれあい」が生んだ頼もしい力、新鮮な気持ちで活動できる喜びを感じています。

細かな雑草も見逃しません！

「聖月クラブ」のメンバーと一緒に

緑と公園に手軽に親しめる「樹名板づくり」はいかが？

西蒲田五丁目青葉児童公園で活動する「NPO法人大田・花とみどりのまちづくり西蒲田チーム」では、園内の樹木に手作りの樹名板を取り付けています。緑と公園に愛着を持ってもらおうと、昨年8月に取り組みました。

同グループが所属するNPO法人「大田・花とみどりのまちづくり」では、平和の森公園でも同様の取り組みを、地域の人達と一緒に続けています。

樹名板づくりは、園内に樹木があり、材料さえあれば誰にでもできるので、公園を地域に親しませる契機づくりとしてお勧めです。

樹名板づくりのご相談にも応じます。詳しくは左記まで。

電話03（3734）7932
NPO法人大田・花とみどりのまちづくり事務局

活動グループの皆さんからの情報をお寄せ下さい！

ふれあいパーク活動で活動している皆さんからの情報や、記事掲載のご依頼をお待ちしています。

地域のイベントなど、他の皆さんにお伝えする情報はございませんか。また、活動する上で困っていることがあり、他の皆さんからの応援が欲しい時や、情報交換を求める際には、是非とも、本紙面をご活用していただければと思います。

その他、紙面についてのご意見・ご要望などございましたら、区のまちづくり推進部道路公園課公園管理担当か、各地域行政センターまちなみ整備課ふれあいパーク活動担当までご連絡ください。

◆ 連絡先

大田区まちづくり推進部道路公園課　03（5744）1319
大田北地域行政センターまちなみ整備課　03（5764）0629
大田西地域行政センターまちなみ整備課　03（3722）3100
大田南地域行政センターまちなみ整備課　03（5713）2006
大田東地域行政センターまちなみ整備課　03（3741）3168

ぞうさんに夢を乗せて！

千束児童遊園／ぞうさんの会

大田区の北西部、大岡山駅から線路沿い100m程歩いた場所に位置する千束児童遊園。ここは広さが約150㎡の小さな公園ですが、「ぞうさんの会」の皆さんが、公園をいつまでもきれいにしていきたいと活動中です。

「ぞうさんの会」は、近隣に住む花の好きな6人のメンバーで構成されています。千束児童遊園の入口には可愛い象さんの遊具がいくつかあり、グループの名前の由来となりました。公園をきれいにするため、毎週土曜日または日曜日に清掃を行っています。写真（左）は、草花の植え替え作業をしたときのものです。公園が花いっぱいになるように、砂場を花壇にしてもらい、多くの花を植えました。今では年間を通じて可愛い花が咲いています。利用者も増え、子供から大人まで花を眺めに来ます。

活動を通じてメンバー自身が発見したこと、学んだことが数多くあります。その一つとして、「人は花が好きなこと」、「公園を常にきれいにしていると、利用する人は、汚さないようにしようとする気持ちが働くこと」を知りました。活動後の満足感やメンバー相互の親睦など得るものも多く、日々楽しく活動しています。今後も、活動を一層充実させて、夢あふれる公園にしたいと思っています。

（ぞうさんの会代表　西本富子）

公園を花いっぱいに！植え替え準備

ボクが名前の由来です

R70
古紙配合率70%再生紙を使用しています